

JAふかや安全・安心野菜システムによるネギ・ハウレンソウの市場出荷とその評価

JAふかやでは、新鮮野菜の安全性を確保し、その確認ができるのが国最初のシステムとして、平成十四年十一月から運用を開始し二年目を終えました。この結果を

一 地域における生産・

出荷基盤は構築される

取り組み地域の生産者と合意形

荷の場合十七万円、六百ケースでは二十万円以上の差となります。

表-1 安全・安心野菜システムにおける出荷状況

品目	区分	平成14年度	平成15年度	前年比	扱い支店でのシェア	
					平14年	平15年
ハウレンソウ	特別栽培・農薬チェック	11,070 ^{トン}	46,320 ^{トン}	4.2 ^割	3.7 ^割	23.0 ^割
	特別栽培・農薬チェックなし	35,000	37,165	1.1	6.7	17.1
	合計	46,070	83,485	1.8	8.0	20.0
ネギ	特別栽培・農薬チェック(L品)	11,020	13,485	1.2	5.8	4.1
	特別栽培・農薬チェック全規格	24,220	43,295	1.8	11.4	16.6
	合計	24,220	43,295	1.8	11.4	16.6

成、協定遵守が保証される体制を確立することが重要です。先発地域ではこのような基礎的条件、基盤が確立定着してきてきました。

ハウレンソウでは、

表-2 ハウレンソウの特別栽培と一般栽培の市場価格の比較

区分	作型	出荷量(ケース)	販売金額(千円)	平均単価(円/ケース)	特別栽培との差(円/ケース)
特別栽培・農薬チェック	ハウス	1,828	5,806	3,176	
	トンネル	7,243	18,427	2,544	
	露地	193	492	2,549	
	計	9,264	24,725	2,669	
一般栽培	ハウス	2,254	6,772	3,004	▲172
	トンネル	27,147	56,438	2,079	▲465
	露地	7,449	15,058	2,021	▲528
	計	36,850	78,267	2,124	▲545

表-3 ネギの特別栽培と一般栽培の市場価格の比較

区分	出荷量(ケース)	販売金額(千円)	平均単価(円/ケース)	特別栽培との差(円/ケース)
特別栽培1,000番(L品) 農薬チェック(結束)	1,077	2,322	2,156	
一般栽培1,000番(L品) 農薬ノーチェック(バラ)	17,287	26,597	1,539	▲617
特別栽培全規格	2,760	4,195	1,520	
一般栽培全規格	38,344	44,748	1,167	▲353

表-4 一般栽培と比べたネギの付加価値評価

付加価値区分	格差(円/ケース)	10a当たり試算	
		出荷量	付加価値分
特別栽培	100	500 ^{ケース}	5.0 ^{万円}
農薬分析・生産履歴情報公開	100~150	(L品率50%)	5.0~7.5
結束の手間代(L品)	250~300		6.3~7.5
合計	450~550		16.3~20.0

注:JAふかや営農指導センター推定

十四年度ハウス栽培、十五年度ハウス・トンネル栽培、三年目十六年度は露地栽培を含め、全作型の取り組みが予定され生産拡大の方向が見えてきました。

二 市場価格と生産者のメリット

表-2・3で見られるように、特別栽培ハウレンソウは一般栽培より二五%高、ネギでは三〇%高、一〇a五百ケース出

この付加価値をどう評価するか、地域で大方の生産者が取り組むこ

とで、この付加価値は数千円円の格差になる訳です。